

ナンプランラトの国際共同第3相試験「Beacon-BTC」の日本展開に向けた Investigator Meeting を開催

— 国内の参加候補医師と試験計画を共有し、実施に向けた協力体制づくりを推進 —

2026 年 10 月 9 日

会社名 ジェイファーマ株式会社

代表者名 代表取締役社長 吉武益広

(コード番号：520A)

ジェイファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：吉武益広、以下「当社」）は、2026 年 10 月 9 日、開発中の LAT1 阻害剤ナンプランラト（開発コード：JPH203）の国際共同第3相試験「Beacon-BTC」の日本での実施に向け、本邦における参加候補医師を対象とした Investigator Meeting を開催しましたので、お知らせいたします。

当社は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「難病・希少疾病治療グローバル研究開発支援事業（GRiT）」への採択を背景として、米国で進行中の Beacon-BTC の Part A の参加国として日本を新たに追加するための準備を進めています。今回の会議は、その一環として、参加候補医師の試験計画に関する理解を深め、日本での試験実施に向けた協力体制の構築を進めることを目的に開催したものです。



Investigator Meeting の会場の様子（左）と吉武益広代表取締役社長（右）

■ Investigator Meeting の開催について

本会議では、Beacon-BTC の試験計画と日本での実施方針について説明し、参加候補医師と試験の目的や実施に向けた課題を共有しました。さらに、意見交換を通じて、国内での円滑な治験開始に向けた連携を確認しました。

当社は、胆道がんの診療・臨床研究に携わる医師との連携を通じて、本邦における診療実態や治験運営に関する豊富な知見を取り入れ、円滑な試験実施体制の整備を進めてまいります。

■ 今後の予定

当社は、今回の会議を踏まえ、参加候補医師との協議を継続するとともに、日本で必要となる規制手続き、試験実施医療機関の選定および試験開始に向けた準備を進め、患者登録の開始を目指します。

AMED の支援については、補助金の交付決定後、交付条件に従って活用する予定です。当社は、国内外の医療機関と連携し、胆道がん患者様に新たな治療選択肢を届けることを目指して、ナンブランラトのグローバル開発を着実に進めてまいります。

【関連情報】

- ・ナンブランラトの胆道がんを対象とした第3相臨床試験について

https://www.j-pharma.com/clinical_trial/biliary_tract_cancer_p3/

- ・AMED【革新的医療技術研究開発推進事業（産官学共同型）グローバルタイプ（難病・希少疾病治療グローバル研究開発支援事業）】への採択について

<https://www.j-pharma.com/news/3716/>

【ナンブランラトについて】

ナンブランラト（開発コード：JPH203）は、当社が新規創製した LAT1 選択的阻害剤であり、同作用機序の薬剤として世界で初めて臨床開発が進められている低分子化合物です。LAT1 (L-type amino acid transporter 1、L 型アミノ酸トランスポーター1) は、細胞内へのアミノ酸取り込みに関与するトランスポーターの一つであり、多くのがん細胞で高発現していることが知られています。医薬品として承認された場合、ファースト・イン・クラス（疾患に対して新しい作用機序で初めて承認に至る医薬品）の新薬となる可能性があります。当社は 2015 年より複数の固形がんを対象とした第 1 相臨床試験を実施し、その成果を踏まえ、進行性胆道がん治療への適応可能性を見出しました。2018 年からは進行性胆道がんを対象とした第 2 相臨床試験を実施し、PFS についてプラセボ群と比較して有意な改善と良好な安全性を確認しました。

また、ナンブランラトは 2022 年 4 月に米国食品医薬品局 (FDA) よりオーファンドラッグ（希

少疾病用医薬品）指定を受け、2024 年 9 月 25 日にはナンブランラトのがん患者様を対象とする臨床試験に関する Investigational New Drug (IND) 申請が受理されました。さらに、2025 年 5 月 13 日付で、CMC（化学・製造・品質管理）に関して、商業製造スケールにおける品質基準への適合について、FDA より肯定的な書面回答を受領しました。これらの進展を踏まえ、当社は 2025 年 12 月にグローバル第 3 相臨床試験を開始し、現在、試験を実施しています。

ナンブランラト国内第 2 相試験の結果に関する論文

Furuse et al. A Phase II Placebo-Controlled Study of the Effect and Safety of Nanvuranlat in Patients with Advanced Biliary Tract Cancers Previously Treated by Systemic Chemotherapy. Clin Cancer Res. 2024; 30(18):3990-3995. <https://doi.org/10.1158/1078-0432.CCR-24-0461>

【ジェイファーマ株式会社について】

当社は、「SLC トランスポーターの新たな可能性を追求し、アンメット・メディカル・ニーズに応える革新的新薬の開発を通じて、世界中の人々が健康を維持し、希望を持ち続けることに貢献する」を企業理念としています。この理念のもと、SLC トランスポーターのひとつで創業者が発見した LAT1（L 型アミノ酸トランスポーター1）に注力し、がんや自己免疫疾患において既存薬では対応できない患者様のニーズに応える新薬開発を推進しています。ジェイファーマ株式会社の詳細は、当社ウェブサイト <https://www.j-pharma.com/> をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

ジェイファーマ株式会社 企画部

TEL : 03-6432-4270

<https://www.j-pharma.com/contact/>